

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

平成29年度横浜国立大学一体による教育組織（学部）の改編に伴う入学者選抜 における出題教科・科目等について（予告）

1 目次

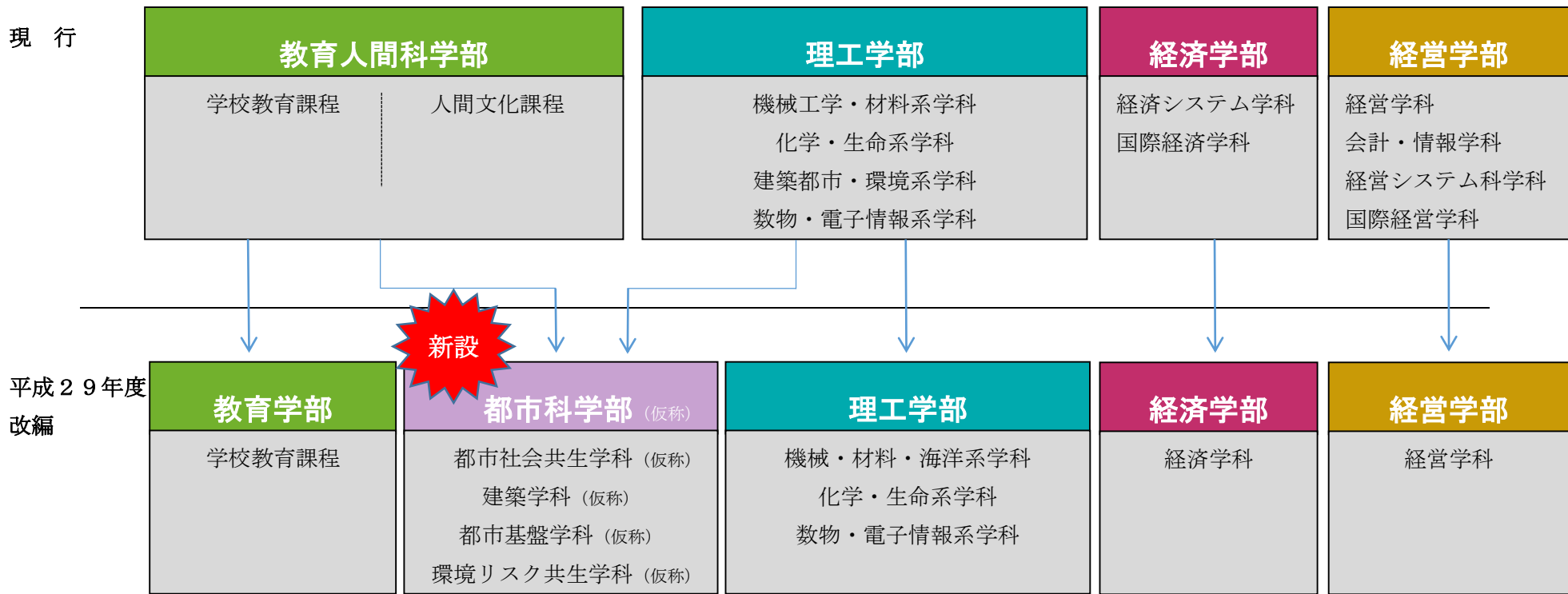
1	目次.....	1
2	教育組織（学部）の改編図.....	3
3	注意事項.....	4
4	学部入学定員等.....	5
5	学部一般選抜.....	7
	① 教育学部.....	7
	② 経済学部.....	7
	③ 経営学部.....	7
	④ 理工学部.....	7
	⑤ 都市科学部.....	8
6	専門高校卒業生入試.....	10
	① 経営学部.....	10
7	アドミッション・オフィス入試（AO入試）.....	11
	① 教育学部.....	11
	② 経済学部.....	11
	③ 経営学部.....	12
	④ 理工学部.....	12
	⑤ 都市科学部.....	13

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
 都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
 よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

8	特別入試	15
	(ア) 推薦入試	15
	① 教育学部	15
	② 経営学部	15
	③ 理工学部	15
	(イ) 帰国生徒入試	16
	① 教育学部	16
	② 経営学部	16
	(ウ) 外国学校出身者入試	16
	① 経済学部	16
	(エ) 社会人入試	17
	① 経営学部	17
	(オ) YGEP-N1 (渡日入試)	18
	① 経済学部	18
	② 経営学部	18
	③ 理工学部	19
	④ 都市科学部	20
	(カ) YGEP-N1 (渡日前入試)	21
	① 理工学部	21
	② 都市科学部	21
	(キ) YGEP-N2	22
	① 都市科学部	22
	(ク) YCCS	23
	① 都市科学部	23

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
 都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
 よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成 28 年 9 月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

2 教育組織（学部）の改編図



教員養成に特化した学部
 に改編し、学部名称を変
 更します。本改編計画に
 より、人間文化課程は平
 成 29 年度から学生募集
 を停止します。

人文社会科学系と理工学系の融
 合を活かした都市づくりとグロ
 ーバル社会、イノベーション創
 造を担う、今までにない新しい人材
 育成を行います。

新しい価値の創造や技術革新を導く付
 加価値の高い理工系人材を育成するた
 め、4 学科体制を 3 学科体制に改編し、
 教育体制を再編成します。本改編計画
 により、建築都市・環境系学科は平成
 29 年度から学生募集を停止し、機械工
 学・材料系学科は新たな名称で学生募
 集を行います。

幅広い知識の習得に
 向けて 2 学科を 1 学
 科へ改編します。本改
 編計画により、経済シ
 ステム学科及び国際
 経済学科は平成 29 年
 度から学生募集を停
 止します。

幅広い知識の習得に向
 けて 4 学科を 1 学科へ改
 編します。本改編計画
 により、経営学科（昼間主
 コース及び夜間主コー
 ス）会計・情報学科（昼
 間主コース）、経営シ
 ステム科学科（昼間主コ
 ース）及び国際経営学
 科（昼間主コース）は平成
 29 年度から学生募集を
 停止します。

* 都市科学部の名称・内容等は構想中のものであり、変更する場合があります。

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

3 注意事項

- (1) 予告内容は7月時点のものであり、今後変更する可能性があります。
- (2) 確定内容は審査結果通知後、平成28年9月に本学ホームページにて公表する予定です。
- (3) 次ページ以降で「平成28年度入学者選抜要項」を参照しているところがあります。
平成29年度入学者選抜に際し、入学志願者の準備に大きな影響を及ぼさない内容で予定しているため、参考にお知らせしているものです。
- (4) 「平成28年度入学者選抜要項」参照に際しての注意点
 - (ア) 出願要件の欄中、「平成〇〇年〇月」、「平成〇〇年〇月から平成〇〇年〇月までに」等の記載は、プラス1年として読み替えてください。
例) 平成28年3月までに → 平成29年3月までに
平成27年3月から平成28年3月までに → 平成28年3月から平成29年3月までに
平成26年(2014年)4月1日から平成28年(2016年)3月31日までに →
平成27年(2015年)4月1日から平成29年(2017年)3月31日までに など
 - (イ) 平成28年度大学入試センター試験まで行われていた、旧教育課程履修者に対する「工業数理基礎」に関する経過措置については、平成29年度は行いません。
 - (ウ) 平成29年度入学者選抜における出願期間、選抜期日、合格発表日、自己推薦書、課題レポートの内容などは、7月下旬に公表する「平成29年度入学者選抜要項」で確認をしてください。
- (5) 名称説明
 - (ア) **GBEEP**：正式名称はGlobal Business and Economics 教育プログラム。経済学部と経営学部が共同で実施する教育プログラムで、以下のような特徴があります。①経済学と経営学の2つの学問領域を学習する。②英語による授業や海外学修の履修が課される。③卒業に必要な単位数は132単位以上で、通常のプログラム(124単位)よりも多い。なお、同プログラムへ入学可能な入試は、経済学部(AO入試、外国学校出身者入試、YGEP-N1)、経営学部(AO入試、帰国生徒入試、YGEP-N1)です。
 - (イ) **YGEP-N1**：正式名称は横浜グローバル教育プログラム。来日して日本語を学んできた外国人、又は来日前にある程度日本語を学んだ外国人で日本語能力試験N1相当の者を対象とした入試ですが、日本語能力試験の受験は必要ありません。入学後は日本人学生と一緒に通常カリキュラムを履修します。
 - (ウ) **YGEP-N2**：正式名称は横浜グローバル教育プログラム。来日前に多少日本語を学んだ外国人で日本語能力試験N2相当の者を対象とした渡日前入試です。ただし、日本語能力試験の受験は必要ありません。入学後、1年次では日本語と日本事情を重点的に履修、2年次以降で日本人と一緒に専門分野を学習します。

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
 都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
 よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

4 学部入学定員等

学部	学科・課程・コース・ 教育プログラム(EP)		入学 定員	募 集 人 員 (人)										
				一般入試		アドミッション・ オフィス入試 (AO入試)	推薦入試		帰国 生徒 入 試	外国学 校出身 者入試	社会人 入 試	YGEP -N1	YGEP -N2	YCCS
				前期 日程	後期 日程		地域枠	全国枠						
教育 学部	学校教育 課 程	人間形成コース	230	142	—	—	12	26	若干名 (前期日 程内数)	—	—	—	—	—
		教科教育コース		—	30	—	—	—		—	—			
		特別支援教育コース		18	—	—	—	2		—	—	—	—	
	小 計		230	160	—	30	40		若干名	—	—	—	—	—
AO入試の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 推薦入試の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。														
経済 学部	経済学科		238	125	90	15	—	—	若干名 (前期日 程内数)	—	8 (通常6名、 GBEEP2名)	—	—	
				AO入試の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 YGEP-N1入試の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。										
経営 学部	経営学科		287	128	98	15	34		若干名 (前期日 程内数)	—	4	8 (通常6名、 GBEEP2名)	—	—
				AO入試の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 推薦入試の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。 社会人入試の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 YGEP-N1入試の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。										

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
 都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
 よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

学部	学科・課程・コース・ 教育プログラム(EP)		入学 定員	募 集 人 員 (人)									
				一般入試		アドミッション・ オフィス入試 (AO入試)	推薦入試	帰国 生徒 入 試	外国学 校出身 者入試	社会人 入 試	YGEP -N1	YGEP -N2	YCCS
				前期 日程	後期 日程								
理工学部	機 械 ・ 材 料・海洋系 学科	機械工学EP	185	56	50	—	—	—	—	—	2	—	—
		材料工学EP		22	20	—	—	—	—	—		—	
		海洋空間のシステムデザインEP		17	8	10	—	—	—	—		—	
	化学・生命 系学科	化学EP・化学応用EP	187	75	60	—	22	—	—	—	2	—	—
		バイオEP		15	10	—	3	—	—	—		—	
	数物・電子 情報系学 科	数理科学EP	287	20	15	—	—	—	—	—	2	—	—
		物理工学EP		60	30	—	—	—	—	—		—	
		電子情報システムEP		63	50	—	—	—	—	—		—	
		情報工学EP		30	17	—	—	—	—	—		—	
	小 計		659	358	260	10	25	0	0	0	6	0	0
				AO入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 推薦入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 YGEP-N1入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。									
※設置予定 都市科学部	都市社会共生学科		74	30	20	10	—	—	—	—	2	—	12
	建築学科		70	41	20	7	—	—	—	—	2	—	—
	都市基盤学科		48	18	12	10	—	—	—	—	3	5	—
	環境リスク共生学科		56	30	10	10	—	—	—	—	3	3	—
	小 計		248	119	62	37	0	0	0	0	10	8	12
				AO入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、前期日程の合格者で補充します。 YGEP-N1及びN2入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合には、後期日程の合格者で補充します。									
合 計			1,662	890	510	107	99	若干名	若干名	4	32	8	12

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
 都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
 よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

5 学部一般選抜

学部一般選抜		平成29年度入学者選抜の実施教科・科目等
学部	学科	
① 教育学部		
	学校教育課程	(変更なし) 平成28年度 教育人間科学部 学校教育課程に同じ
② 経済学部		
	経済学科	(変更なし) 平成28年度 経済学部 に同じ
③ 経営学部		
	経営学科	(変更なし) 平成28年度 経営学部 (昼間主コース) に同じ (夜間主コースは、 廃止)
④ 理工学部		
	機械・材料・海洋系学科	(変更なし) 平成28年度 理工学部 機械工学・材料系学科に同じ
	化学・生命系学科	(変更なし) 平成28年度 理工学部 化学・生命系学科に同じ
	数物・電子情報系学科	(変更なし) 平成28年度 理工学部 数物・電子情報系学科に同じ

※「変更なし」の詳細は、こちらをクリック ⇒ [平成28年度入学者選抜要項](#) P11～16

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
 都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
 よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

学部一般選抜		平成29年度入学者選抜の実施教科・科目等					
学部 学科		大学入試センター試験（前期日程・後期日程）		個別学力検査等（前期日程）		個別学力検査等（後期日程）	
		教科	科目名等	教科	科目名等	教科	科目名等
⑤ 都市科学部	都市社会共生学科	国語	「国」	外国語	「コア英Ⅰ」、「コア英Ⅱ」、 「コア英Ⅲ」、「英表Ⅰ」、 「英表Ⅱ」	外国語	「コア英Ⅰ」、「コア英Ⅱ」、 「コア英Ⅲ」、「英表Ⅰ」、 「英表Ⅱ」
		地歴※1 公民	「世B」、「日B」、「地理B」、「倫・政経」から 1又は2科目	小論文		小論文	
		理科※1	(a) 「物基」、「化基」、「生基」、「地学基」から2科目 (b) 「物」、「化」、「生」、「地学」から1科目 (c) 「物基」、「化基」、「生基」、「地学基」から2科目 及び「物」、「化」、「生」、「地学」から1科目 (d) 「物」、「化」、「生」、「地学」から2科目				
		数学※2	「数Ⅰ・数A」と (「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」、から1科目)				
		外国語※3	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1科目				
建築学科 都市基盤学科	国語	「国」	数学	「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数Ⅲ」、 「数A」、「数B」	数学	「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数Ⅲ」、 「数A」、「数B」	
	地歴※4 公民	「世B」、「日B」、「地理B」、「現社」、「倫」、 「政経」、「倫・政経」から1科目	理科	「物基」・「物」、 「化基」・「化」、 「生基」・「生」から2科目	理科	「物基」・「物」、 「化基」・「化」	
	理科	「物」、「化」、「生」、「地学」から2科目	外国語	「コア英Ⅰ」、「コア英Ⅱ」、 「コア英Ⅲ」、「英表Ⅰ」、 「英表Ⅱ」			
	数学※2	「数Ⅰ・数A」と (「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」、から1科目)					
	外国語※3	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1科目					
環境リスク共生学科	国語	「国」	数学	「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数Ⅲ」、 「数A」、「数B」	数学	「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数Ⅲ」、 「数A」、「数B」	
	地歴※4 公民	「世B」、「日B」、「地理B」、「現社」、「倫」、 「政経」、「倫・政経」から1科目	理科	「物基」・「物」、 「化基」・「化」、 「生基」・「生」、 「地学基」・「地」から2科目	小論文		
	理科	「物」、「化」、「生」、「地学」から2科目	外国語	「コア英Ⅰ」、「コア英Ⅱ」、 「コア英Ⅲ」、「英表Ⅰ」、 「英表Ⅱ」			
	数学※2	「数Ⅰ・数A」と (「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」、から1科目)					
	外国語※3	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1科目					
	※1	※「地歴・公民」から2科目の場合、理科は(a)又は(b) ※「地歴・公民」から1科目の場合、理科は(c)又は(d) 「理科」で(c)を選択する場合、同一名を付した科目（例：「物理基」と「物理」など）の選択を認める。					

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。

都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。

よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

		「地歴・公民」から2科目、「理科」で(c)を選択して受験した場合は、まず「地歴・公民」の第1解答科目の得点を採用し、次いで「地歴・公民」の第2解答科目の得点、「理科」の基礎を付した2科目の得点、「理科」の基礎を付さない1科目の得点のうち、得点の高い順に2つの得点を合否判定に用いる。
	※2	「地歴・公民」から2科目、「理科」で(d)を選択した場合は、まず「地歴・公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地歴・公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用いる。
	※3	「簿」、「情報」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限る。なお、情報関係基礎を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（社会と情報・情報の科学等）を履修した者は該当しない。
	※4	「英」についてはリスニングテストを含む。（リスニングテストの免除を許可された者を除く。）
		「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

6 専門高校卒業生入試

専門高校卒業生入試		平成29年度入学者選抜の実施教科・科目等
学部	学科	
① 経営学部		
	経営学科（夜間主コース）	廃止

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
 都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
 よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

7 アドミッション・オフィス入試（AO入試）

アドミッション・オフィス入試（AO入試）		平成29年度入学者選抜の実施教科・科目等																			
学部	学科																				
① 教育学部																					
学校教育課程（教科教育コース）	（変更なし）平成28年度 教育人間科学部 学校教育課程に同じ																				
② 経済学部																					
経済学科（GBEEP）	（新設）																				
* このAO入試は、経済学を中心にしてGBEEP（4頁参照）での学習を希望する方のための入試です。																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">大学入試センター試験</th> <th rowspan="2">選抜方法</th> <th rowspan="2">外部試験の利用</th> </tr> <tr> <th>教科</th> <th>科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数学※1</td> <td>「数Ⅰ・数A」と（「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」、から1科目）</td> <td rowspan="2"> 入学者の選抜は、第1次選抜、第2次選抜及び最終選抜の3段階で行う。 【第1次選抜】 志願者が募集人員の3倍を超えた場合は、書類（英語スコア）により選抜を行う。 【第1次選抜の免除】 第1次選抜免除試験等にかかる証明書原本を提出した者は、第1次選抜を免除する。 【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し、自己推薦書および他の提出書類により面接試験を行い、熱意と適性を総合的に判断します。 【最終選抜】 第2次選抜合格者に対し、大学入試センター試験成績により選抜を行う。 </td> <td rowspan="2"> 【出願要件：いずれか1つ】 ・実用英語技能検定（英検） ・TOEFL（iBT、PBT） ・TOEIC ・IELTS（Academic Module） 【第1次選抜免除試験等】 ・日本数学オリンピック予選Aランク者と予選免除者 ・実用数学技能検定（数学検定）1級合格者 ・日本商工会議所簿記検定試験（日商簿記）1級合格者 ・全国経理教育協会簿記能力検定試験（全経簿記）上級合格者 ※すべての外部試験において取得年月は問わない。 </td> </tr> <tr> <td>外国語※2</td> <td>「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1科目</td> </tr> <tr> <td>※1</td> <td colspan="3">「簿」、「情報」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限る。なお、情報関係基礎を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（社会と情報・情報の科学等）を履修した者は該当しない。</td> </tr> <tr> <td>※2</td> <td colspan="3">「英」についてはリスニングテストを含む。（リスニングテストの免除を許可された者を除く。）</td> </tr> </tbody> </table>	大学入試センター試験		選抜方法	外部試験の利用	教科	科目名等	数学※1	「数Ⅰ・数A」と（「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」、から1科目）	入学者の選抜は、第1次選抜、第2次選抜及び最終選抜の3段階で行う。 【第1次選抜】 志願者が募集人員の3倍を超えた場合は、書類（英語スコア）により選抜を行う。 【第1次選抜の免除】 第1次選抜免除試験等にかかる証明書原本を提出した者は、第1次選抜を免除する。 【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し、自己推薦書および他の提出書類により面接試験を行い、熱意と適性を総合的に判断します。 【最終選抜】 第2次選抜合格者に対し、大学入試センター試験成績により選抜を行う。	【出願要件：いずれか1つ】 ・実用英語技能検定（英検） ・TOEFL（iBT、PBT） ・TOEIC ・IELTS（Academic Module） 【第1次選抜免除試験等】 ・日本数学オリンピック予選Aランク者と予選免除者 ・実用数学技能検定（数学検定）1級合格者 ・日本商工会議所簿記検定試験（日商簿記）1級合格者 ・全国経理教育協会簿記能力検定試験（全経簿記）上級合格者 ※すべての外部試験において取得年月は問わない。	外国語※2	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1科目	※1	「簿」、「情報」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限る。なお、情報関係基礎を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（社会と情報・情報の科学等）を履修した者は該当しない。			※2	「英」についてはリスニングテストを含む。（リスニングテストの免除を許可された者を除く。）		
大学入試センター試験		選抜方法	外部試験の利用																		
教科	科目名等																				
数学※1	「数Ⅰ・数A」と（「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」、から1科目）	入学者の選抜は、第1次選抜、第2次選抜及び最終選抜の3段階で行う。 【第1次選抜】 志願者が募集人員の3倍を超えた場合は、書類（英語スコア）により選抜を行う。 【第1次選抜の免除】 第1次選抜免除試験等にかかる証明書原本を提出した者は、第1次選抜を免除する。 【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し、自己推薦書および他の提出書類により面接試験を行い、熱意と適性を総合的に判断します。 【最終選抜】 第2次選抜合格者に対し、大学入試センター試験成績により選抜を行う。	【出願要件：いずれか1つ】 ・実用英語技能検定（英検） ・TOEFL（iBT、PBT） ・TOEIC ・IELTS（Academic Module） 【第1次選抜免除試験等】 ・日本数学オリンピック予選Aランク者と予選免除者 ・実用数学技能検定（数学検定）1級合格者 ・日本商工会議所簿記検定試験（日商簿記）1級合格者 ・全国経理教育協会簿記能力検定試験（全経簿記）上級合格者 ※すべての外部試験において取得年月は問わない。																		
外国語※2	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1科目																				
※1	「簿」、「情報」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限る。なお、情報関係基礎を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（社会と情報・情報の科学等）を履修した者は該当しない。																				
※2	「英」についてはリスニングテストを含む。（リスニングテストの免除を許可された者を除く。）																				

※「変更なし」の詳細は、こちらをクリック ⇒ [平成28年度入学者選抜要項](#) P21～22

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
 都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
 よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

アドミッション・オフィス入試（A0入試）		平成29年度入学者選抜の実施教科・科目等	
学部 学科			
③ 経営学部			
経営学科（GBEEP） ＊このA0入試は、経営学を中心にしてGBEEP（4頁参照）での学習を希望する方のための入試です。	（新設）		
	大学入試センター試験		選抜方法
	教科	科目名等	外部試験の利用
	数学※1 「数Ⅰ・数A」と（「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」、から1科目） 外国語※2 「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1科目	入学者の選抜は、第1次選抜、第2次選抜及び最終選抜の3段階で行う。 【第1次選抜】 志願者が募集人員の3倍を超えた場合は、書類（英語スコア）により選抜を行う。 【第1次選抜の免除】 第1次選抜免除試験等にかかる証明書原本を提出した者は、第1次選抜を免除する。 【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し、自己推薦書および他の提出書類により面接試験を行い、熱意と適性を総合的に判断します。 【最終選抜】 第2次選抜合格者に対し、大学入試センター試験成績により選抜を行う。	【出願要件：いずれか1つ】 ・実用英語技能検定（英検） ・TOEFL（iBT、PBT） ・TOEIC ・IELTS（Academic Module） 【第1次選抜免除試験等】 ・日本数学オリンピック予選Aランク者と予選免除者 ・実用数学技能検定（数学検定）1級合格者 ・日本商工会議所簿記検定試験（日商簿記）1級合格者 ・全国経理教育協会簿記能力検定試験（全経簿記）上級合格者 ※すべての外部試験において取得年月は問わない。
※1	「簿」、「情報」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限る。なお、情報関係基礎を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（社会と情報・情報の科学等）を履修した者は該当しない。		
※2	「英」についてはリスニングテストを含む。（リスニングテストの免除を許可された者を除く。）		
④ 理工学部			
機械・材料・海洋系学科 海洋空間のシステムデザインEP	平成28年度 理工学部 建築都市・環境系学科 海洋空間のシステムデザインEPに同じ		

※「平成28年度 理工学部 建築都市・環境系学科 海洋空間のシステムデザインEPに同じ」の詳細は、

こちらをクリック ⇒ [平成28年度入学者選抜要項](#) P25

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
 都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
 よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

アドミッション・オフィス入試（AO入試） 平成29年度入学者選抜の実施教科・科目等

学部 学科	大学入試センター試験の利用教科・科目名		選抜方法	外部試験の利用
	教科	科目名等		
⑤ 都市科学部 都市社会共生学科	国語	「国」	【第1次選抜】 以下の書類による選抜を行う。 1. 自己推薦書及び学習計画書 2. 調査書等 【第2次選抜】 口頭試問による選抜を行う。主に志望動機・入学後の学習計画等に関する質疑を行うとともに、思考力・表現力を考査する文章実技を実施する※5。 【最終合格者決定】 大学入試センター試験の結果により、最終的な合格者を決定する。	利用しない
	地歴※1※4 公民	「世B」、「日B」、「地理B」、「倫・政経」から1科目		
	数学※1※2	「数I・数A」、「数II・数B」、「簿」、「情報」から1科目		
	外国語※3	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1科目		
建築学科	利用しない	【第1次選抜】 書類審査及び実技試験による選抜を行う。 1. 自己推薦書 2. 調査書等 3. 実技試験 【第2次選抜】 口頭試問による論理的思考力・理解力・表現力の考査を行う。	利用しない	
都市基盤学科	利用しない	【第1次選抜】 以下の書類による選抜を行う。 1. 自己推薦書 2. 調査書等 【第2次選抜】 口頭試問による選抜を行う。口頭試問では主に、志望動機等に関する質疑、数学・物理及びそれらに関連する総合的な能力の検査、物理的・社会的現象を対象とした課題に関するプレゼンテーションとそれに関する質疑を行う。	利用しない	
環境リスク共生学科	国語	「国」	【第1次選抜】 以下の書類による選抜を行う。 1. 自己推薦書 2. 調査書等 【第2次選抜】 適性及び能力を判断するために、実際の研究材料や資料、データなどを調べ、結果をまとめて発表する実習（環境学への興味とセンス、思考力、発想力、表現力の検査）を課す。 【最終選抜】 大学入試センター試験の結果により、最終的な合格者を決定する。	利用しない
	地歴※4 公民	「世B」、「日B」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」から1科目		
	理科	「物」、「化」、「生」、「地学」から2科目		
	数学※2	「数I・数A」と（「数II・数B」、「簿」、「情報」、から1科目）		
外国語※3	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1科目			
※1	「地歴・公民」又は「数学」のどちらか1教科を選択			

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。

都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。

よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

※2	「簿」、「情報」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限る。なお、情報関係基礎を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（社会と情報・情報の科学等）を履修した者は該当しない。
※3	「英」についてはリスニングテストを含む。（リスニングテストの免除を許可された者を除く。）
※4	「地理歴史」及び「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。 なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
※5	文化的・社会的現象に関する600字程度の作文を当日に課し、口頭試問では志望動機や学習計画と合わせて作文内容についても質疑を行う。

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
 都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
 よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

8 特別入試

(ア) 推薦入試

推薦入試		平成29年度入学者選抜の実施教科・科目等
学部	学科	
① 教育学部		
	学校教育課程	(変更なし) 平成28年度教育人間科学部学校教育課程に同じ
② 経営学部		
	経営学科	(変更なし) 平成28年度経営学部(昼間主コース)に同じ
	経営学科(夜間主コース)	廃止
③ 理工学部		
	化学・生命系学科	(変更なし) 平成28年度理工学部化学・生命系学科に同じ

※「変更なし」の詳細は、こちらをクリック ⇒ [平成28年度入学者選抜要項](#) P28, 29, 31

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
 都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
 よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

(イ) 帰国生徒入試

帰国生徒入試		平成29年度入学者選抜の実施教科・科目等
学部	学科	
① 教育学部		
	学校教育課程	(変更なし) 平成28年度教育人間科学部学校教育課程に同じ
② 経営学部		
	経営学科	(変更なし) 平成28年度経営学部(昼間主コース)に同じ 出願時に希望する教育プログラム(通常 or GBEEP(4頁参照))を選択

※「変更なし」の詳細は、こちらをクリック ⇒ [平成28年度入学者選抜要項](#) P33, 35

(ウ) 外国学校出身者入試

外国学校出身者入試		平成29年度入学者選抜の実施教科・科目等
学部	学科	
① 経済学部		
	経済学科	(変更なし) 平成28年度経済学部と同じ 出願時に希望する教育プログラム(通常 or GBEEP(4頁参照))を選択

※「変更なし」の詳細は、こちらをクリック ⇒ [平成28年度入学者選抜要項](#) P34

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
 都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
 よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

(工) 社会人入試

社会人入試		平成29年度入学者選抜の実施教科・科目等	
学部	学科		
① 経営学部			
経営学科	(一部変更あり)		
	平成28年度	⇒	平成29年度
	TOEICの得点が420点以上		TOEICの得点が443点以上
	TOEFL(ペーパーテスト)の得点が443点以上		TOEFL(ペーパーテスト)の得点が450点以上
	TOEFL(インターネットテスト)の得点が43点以上		TOEFL(インターネットテスト)の得点が45点以上
その他は平成28年度経営学部(夜間主コース)に同じ			

※ 「その他は平成28年度経営学部(夜間主コース)に同じ」の詳細は、

こちらをクリック ⇒ [平成28年度入学者選抜要項](#) P36

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
 都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
 よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

(才) YGEP-N1 (渡日入試)

(渡日入試)

YGEP-N1 (渡日入試)

平成29年度入学者選抜の実施教科・科目等

学部 学科

① 経済学部

	日本留学試験 (2016年6月又は11月実施の試験を受験)		選抜方法	外部試験の利用
	教科	科目等		
経済学科 * 出願時に希望する教育プログラム (通常or GBEEP (4頁参照)) を選択	出題言語の指定	英語、日本語 どちらでも可	日本留学試験およびTOEFL又はTOEICの成績により、第1段階選抜を行い、その第1段階選抜合格者に対し、集団面接を行います。 日本留学試験の成績を重視します。	TOEFL又はTOEIC 平成27年(2015年)1月以降に実施された試験を受験していること
	日本語	日本語		
	総合科目	総合科目		
	数学	コース1		
	必要要件	合計得点が8割以上の者が出願できる (注) 合計得点には、日本語の「記述」の得点は含まない		

② 経営学部

	日本留学試験 (2016年6月又は11月実施の試験を受験)		選抜方法	外部試験の利用
	教科	科目等		
経営学科 * 出願時に希望する教育プログラム (通常or GBEEP (4頁参照)) を選択	出題言語の指定	英語、日本語 どちらでも可	小論文及び面接 TOEFL又はTOEICの成績を重視します。 日本留学試験の成績を重視します。	TOEFL又はTOEIC 平成27年(2015年)1月以降に実施された試験を受験した者で、次の①～③のいずれかに該当する者が出願できる。 ①TOEFL(ペーパーテスト)の得点が450点以上 ②TOEFL(インターネットテスト)の得点が45点以上 ③TOEICの得点が443点以上
	日本語	日本語		
	理科	物理、化学、生物 理科(物理、化学、生物)から2科目又は総合科目を選択		
	総合科目	総合科目		
	数学	コース1、コース2 いずれかを選択		
	必要要件	合計得点が8割以上の者が出願できる		

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
 都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
 よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

Y G E P - N 1 (渡 日 入 試)					
学部 学科		平成29年度入学者選抜の実施教科・科目等			
③ 理工学部					
	日本留学試験 (2016年6月又は11月実施の試験を受験)		個別学力検査等		外部試験の利用
	教科	科目等	教科	科目等	
機械・材料・海洋系学科	出題言語の指定	日本語	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B	TOEFL又はTOEIC 平成27年(2015年)1月以降に実施された試験を受験していること
	日本語	日本語	面接		
	理科	物理、化学			
	数学	コース2			
	日本留学試験の成績を重視します。				
化学・生命系学科	出題言語の指定	日本語	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B	TOEFL又はTOEIC 平成27年(2015年)1月以降に実施された試験を受験していること
	日本語	日本語	面接		
	理科	化学(必修) 物理・生物から1科目選択			
	数学	コース2			
	日本留学試験の成績を重視します。				
数物・電子情報系学科	出題言語の指定	日本語	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B	TOEFL又はTOEIC 平成27年(2015年)1月以降に実施された試験を受験していること
	日本語	日本語	面接		
	理科	物理、化学			
	数学	コース2			
	日本留学試験の成績を重視します。				

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
 都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
 よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

Y G E P - N 1 (渡日入試) 平成29年度入学者選抜の実施教科・科目等					
学部 学科					
④ 都市科学部					
	日本留学試験 (2016年6月又は11月実施の試験を受験)		個別学力検査等		外部試験の利用
	教科	科目等	教科	科目等	
都市社会共生学科	出題言語の指定	英語、日本語 どちらでも可	面接		TOEFL、TOEIC又はIELTS 平成27年(2015年)1月以降 に実施された試験を受験して いること
	日本語	日本語		入学者の選抜は、日本留学試験の成績、TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績証明書、複数の面接員による個人面接と高等学校等の成績証明書によって総合的に行う。	
	総合科目	総合科目			
	数学	コース1、コース2 どちらか1科目選択			
建築学科	出題言語の指定	日本語	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B	TOEFL、TOEIC又はIELTS 平成27年(2015年)1月以降 に実施された試験を受験して いること
	日本語	日本語	面接		
	理科	物理(必修) 化学・生物から1科目選択		本学が実施する個別学力検査(数学)、面接、日本留学試験成績、TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績及び高等学校等の成績を総合して、選抜を行う。	
	数学	コース2			
都市基盤学科	出題言語の指定	日本語	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B	TOEFL、TOEIC又はIELTS 平成27年(2015年)1月以降 に実施された試験を受験して いること
	日本語	日本語	面接		
	理科	物理(必修) 化学・生物から1科目選択		本学が実施する個別学力検査(数学)、面接、日本留学試験成績、TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績及び高等学校等の成績を総合して、選抜を行う。	
	数学	コース2			
環境リスク共生学科	出題言語の指定	日本語	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B	TOEFL、TOEIC又はIELTS 平成27年(2015年)1月以降 に実施された試験を受験して いること
	日本語	日本語	面接		
	理科	物理・化学・生物から2科目選択		本学が実施する個別学力検査(数学)、面接、日本留学試験成績、TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績及び高等学校等の成績を総合して、選抜を行う。	
	数学	コース2			

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
 都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
 よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

(カ) YGEP-N1 (渡日前入試)

(渡日前入試)

YGEP-N1 (渡日前入試) 平成29年度入学者選抜の実施教科・科目等

学部 学科

① 理工学部

	日本留学試験 (2016年6月又は11月実施の試験を受験)		選抜方法	外部試験の利用
	教科	科目等		
機械・材料・海洋系学科 材料工学E P 海洋空間のシステムデザインE P	出題言語の指定	日本語	総合評価により選抜します ・入学願書 ・高等学校等の成績証明書 ・日本留学試験の成績 ・TOEFL、TOEICまたは、IELTSの成績証明書 ・ビデオレター（日本語） ・面接	TOEFL、TOEICまたはIELTS 平成27年(2015年)1月以降に実施された試験を受験していること
	日本語	日本語		
	理科	物理、化学		
	数学	コース2		

② 都市科学部

	日本留学試験 (2016年6月又は11月実施の試験を受験)		選抜方法	外部試験の利用
	教科	科目等		
建築学科	出題言語の指定	日本語	入学者の選抜は、入学願書、高等学校等の成績証明書、日本留学試験の成績、TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績証明書、ビデオレター（日本語）の内容、志望理由書、面接等を総合的に評価して行う。	TOEFL、TOEICまたはIELTS 平成26年(2014年)11月以降に実施された試験を受験していること
	日本語	日本語		
	理科	物理（必修） 化学・生物から1科目選択		
	数学	コース2		
都市基盤学科	出題言語の指定	日本語	入学者の選抜は、入学願書、高等学校等の成績証明書、日本留学試験の成績、TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績証明書、ビデオレター（日本語）の内容、志望理由書、面接等を総合的に評価して行う。	TOEFL、TOEICまたはIELTS 平成26年(2014年)11月以降に実施された試験を受験していること
	日本語	日本語		
	理科	物理（必修） 化学・生物から1科目選択		
	数学	コース2		
環境リスク共生学科	出題言語の指定	日本語	入学者の選抜は、入学願書、高等学校等の成績証明書、日本留学試験の成績、TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績証明書、ビデオレター（日本語）の内容、志望理由書、面接等を総合的に評価して行う。	TOEFL、TOEICまたはIELTS 平成26年(2014年)11月以降に実施された試験を受験していること
	日本語	日本語		
	理科	物理・化学・生物から2科目選択		
	数学	コース2		

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
 都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
 よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

Y G E P - N 2 (渡日前入試)

(渡日前入試)

Y G E P - N 2 (渡日前入試) 平成29年度入学者選抜の実施教科・科目等
 学部 学科

③ 都市科学部

	日本留学試験 (2016年6月又は11月実施の試験を受験)		選抜方法	外部試験の利用
	教科	科目等		
都市基盤学科	出題言語の指定	日本語	入学者の選抜は、入学願書、高等学校等の成績証明書、日本留学試験の成績、TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績証明書、ビデオレター（日本語）の内容、志望理由書、面接等を総合的に評価して行う。	TOEFL、TOEICまたはIELTS 平成26年(2014年)11月以降に実施された試験を受験していること
	日本語	日本語		
	理科	物理（必修） 化学・生物から1科目選択		
	数学	コース2		
環境リスク共生学科	出題言語の指定	日本語	入学者の選抜は、入学願書、高等学校等の成績証明書、日本留学試験の成績、TOEFL、TOEIC又はIELTSの成績証明書、ビデオレター（日本語）の内容、志望理由書、面接等を総合的に評価して行う。	TOEFL、TOEICまたはIELTS 平成26年(2014年)11月以降に実施された試験を受験していること
	日本語	日本語		
	理科	物理・化学・生物から2科目選択		
	数学	コース2		

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部の改編については大学設置・学校法人審議会に認められました。
 都市科学部の設置については、現在、文部科学省に申請中であり、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知を受けて確定するものです。
 よって、現時点ではすべて予定であり、変更があり得ます。確定した内容については、審査結果通知後、平成28年9月頃（予定）に本学ホームページにて公表する予定です。

(キ) YCCS

YCCS 学部 学科 平成29年度入学者選抜の実施教科・科目等

① 都市科学部

	出願要件	選抜方法	外部試験の利用
都市社会共生学科	<p>【基礎資格】の1. あるいは2. を有し、かつ、【要件】の1. 及び2. を満たす者（3. は該当者のみ）</p> <p>【基礎資格】</p> <p>1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2017年9月30日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>2. 2017年9月30日までに18歳に達し、かつ、国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ）、バカロレア資格（フランス）のいずれかを有する者、あるいは、2017年9月30日までにいずれかを有する見込みの者</p> <p>【要件】</p> <p>1. ①～⑦のいずれかの証明書を提出できる者</p> <p>①TOEFL 80iBT (213CBT/550PBT) 以上</p> <p>②IELTS オーバーオール・バンド・スコア6.0以上</p> <p>③国際バカロレア（English Aの場合、HL:3又はSL:4 以上、English Bの場合、HL:4又はSL:5 以上）</p> <p>④Malaysian University English Test (MUET) グレードC以上</p> <p>⑤中国全国公共英語等級考試：Public English Test System 5級 (PETS5)</p> <p>⑥英語による教育課程に修了年次を含め連続して4年以上又は通算6年以上在籍した者</p> <p>⑦上記と同等以上の英語能力を有することを証明する書類</p> <p>2. 中等教育を修了するまでに7年以上外国の教育制度に基づいて日本国以外で教育を受けた者（高等学校卒業見込みの者の場合、高等学校の最終学年の年数を含めてもよい。）</p> <p>3. 出入国管理及び難民認定法の適用を受ける者は、大学入学に支障のない在留資格を有すること</p> <p>注1. 「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的場所に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、卒業（修了）により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者（【基礎資格】2を満たす者は除く）については、本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので、早めに照会してください。</p> <p>注2. 外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。</p>	<p>入学者の選抜は、入学願書、高校等の成績証明書、英語能力を有することを証明する成績証明書、ビデオレター及び推薦書の内容等を総合的に判断して行います。ただし、確認のために面接を課す場合があります。</p> <p>面接は、インターネットのGoogle+ Hangout や、Skype 等のサービスを利用して行いますので、受験者は高速のインターネット環境でカメラとマイクを備えたコンピュータが利用できる必要があります。面接時間は、接続確認等の時間を除いて30分程度を予定しており、英語により行います。</p>	出願要件【要件】を参照